

私は生まれも育ち

## 軽音サークルの活動を通して感じたこと

も名寄市です。高校の頃からバンド活動を続けています。現在も大学の軽音サークルに所属し、バンドを組んで活動しています。

と比べて名寄市民の方との交流がより一層深くなったと感じます。

コロナウイルスの制限も緩和され、学内や学外のライブを企画や運営を行いました。市民の方が主催するイベントに参加する機会が増えてきました。高校生の時

7月に開催された大学祭での野外ライブでは、音響など直接的に支えてくれた方だけではなく、私が想像していたよりも多くの方の協力の中で運営が行われていたことを知りました。また、学外ライブを主催した時は、名

寄市内でライブハウスを経営している方は、快く会場を貸していただけまし、運営の補助など専門的なサポートもしてくださいます。

市民の方が主催されたイベントにお誘いをいただき、参加する機会が増えました。現在もその主催者の方との交流が続いており、ライブがあれば観にきてくだ

さったり、動画を通してコメントやメッセージをいただいたりと、学生のことを気にかけてくれる存在です。

これらのことから、軽音サークルの活動は、常に周囲の方の支えがあると強く実感しました。バンド活動に至っても同じように、音響や照明など専門的なサポートを行ってくださる方をはじめ、観客のみなさん、そして一緒に活動してくれるメンバーなど、さ



まさまな方の支えがないと活動できません。好きでやっているバンド活動にたくさんの方の支えがある

ことに改めて気づき、みなさんの暖かさを実感しました。この場を借りて感謝申し上げます。いか私も、名寄市のみなさんが私たち学生を支えてくれたように、名寄市に恩返しできるようにになりたいと思います。

栄養学科4年

鈴木穂乃果